

令和3年度 校内研修イメージ図

研修主題

自分の思いや考えを進んで表現できる児童の育成(2年目)

— 少人数複式学級だからこそできる授業の工夫を通して —

研修仮説

自分の思いや考えを進んで表現できる児童

研修内容

少人数複式学級だからこそできる授業の工夫

自分の意見をもたせる工夫
(主に「きづく」力)

表現する技術の指導の工夫
(主に「きめる」力)

表現する場の工夫
(主に「かかわる」力、
「やりぬく」力)

新学習指導要領

何ができるようになるか

育成すべき
資質・能力の3つの柱

学びに向かう力
人間性等

知識・技能

思考力・判断力

主体的で
対話的で
深い学び

どのように学ぶか

何を学ぶか

地域に開かれた教育課程

阿武町共通

育てたい心や力

きづく・きめる・かかわる・やりぬく

福賀小学校 本年度の重点取組事項

○福賀っ子の「積極性」と「表現力」を「チーム福賀」で

福賀小学校 児童の課題

- 自分から積極的に物事に関わろうとする姿がまだ少ない
- 積極性に自主性の意識を加えていく必要性あり
- 自分から進んで表現しようとする事が少ない

「積極性」と「表現力」を「育てたい心と力」から福賀小学校なりに定義すると・・・

	きづく	きめる	かかわる	やりぬく
積極性	何? なぜ? どれ? どれ?と疑問がいっぱい!	自分がしたいこと・できること・しなければならぬことを自分で考え、判断し、決定する!	依頼し、調べ、訪ね、尋ね、世界を自分から広げて!	恥ずかしがらず、物怖じせず、自分から動き、最後まで責任感をもって!
表現力	疑問や知りたいこと等を人に分かりやすく伝え、尋ねることができる。	したいこと・できること・しなければならぬことを人に分かりやすく伝えるために言葉(音・文字)や図や絵で見える化できる。	人に理解してもらい、協力してもらい、意見をもらうことができるよう説明できる。理解者・協力者に対して感謝の気持ちを伝えることができる。	自分なりの考えや意見をもつことができ、それを人に分かりやすく伝えるために言葉(音・文字)や図や絵で見える化できる。 次につながるふり返りを行い、新たな「気づき」をもつことができる。